

公定法分析における外部精度管理（技能試験）の成績について（第5報）

1. 目的

分析業務を行う試験所が分析結果を科学的に保証するためには、内部精度管理の他に定期的な外部精度管理を行うことが重要であり、適切な技能試験（外部 QC）スキームに参加することは、試験所の技術的能力を監視する最善の方法といわれている。技能試験による相互比較分析は、国内及び国際レベルで品質を監視する重要な手段として受入られており、試験所間の繰返し性及び再現性だけでなく、系統誤差、すなわち偏りを明確にすることも役立つ¹⁾。

ISO/IEC 17025 の試験所認定の審査機関である（公財）日本適合性認定協会（JAB）が示している指針では、年 1 回の技能試験への受検頻度を推奨している²⁾。本会においても乳成分測定機を校正するための化学分析（参照法分析）について、Fera（The Food and Environment Research Agency, 英国食料環境研究所）が行う食品化学検査分野の技能試験である FAPAS（Food Analysis Performance Assessment Scheme, 食品化学分析技能評価スキーム）に平成 21 年度から毎年参加し、定期的な分析技術の確認を行っている。今年度の技能試験の評価結果について報告する。

2. 方法

1) 技能試験

Fera の食品化学分析技能評価スキームである FAPAS を、平成 21 年から平成 28 年までの間、年 1 回受検した。なお Matrix についてはいずれの回も粉乳で受検した。FAPAS への試験結果の報告には、試験者 2~3 名による平均値を採用した。

2) 試験項目および方法

本会が参加した技能試験の試験項目および方法については、表 1 に示すとおりである。水分は国内標準、たんぱく質、脂質、および炭水化物（乳糖）については、国際標準を採用している。

表1 試験項目および方法

試験項目	試験方法
水分	平成11年4月26日厚生省通知衛新第13号 別添 5炭水化物 イ水分 (4)常圧加熱乾燥法
たんぱく質	ISO 8968-3 (IDF 20-3) (2004)
脂質	ISO 1736 (IDF 9) (2008)
炭水化物(糖類)	ISO 22662 (IDF198) (2007)

3) 分析結果の評価

① Z-score 評価

本会の実施した分析結果については、以下に示す基準に基づき、FAPAS から評価を受けた。

ISO/IEC Guide 43-1 A.3.1.1 c)に規定された評価 a) z スコアについて 2)、

$$Z=(x-X)/\sigma$$

ここで

x : 試験所の値 (参加者の結果)

X : 付与 (された) 値 (通常平均値又はメディアン)

σ : 室間標準偏差 (技能試験のもの又は規格などで規定された値)。

x を示す試験所は

$$\begin{aligned} |z| \leq 2 &: \text{満足} \\ 2 < |z| < 3 &: \text{疑わしい (どちらともいえない)} \\ |z| \geq 3 &: \text{不満足} \end{aligned}$$

② J-Chart 評価

J-Chart による評価法は、単発的な Z-score 評価では見逃されがちな、分析システムの大きな不測の変動と、継続的な小さな偏りを検出することが可能である 3)。下記のルールに従い Z-score を J-score に変換し、是正措置を必要とする限界点である J-score が 8 を超えるまで累積を行っていく。是正措置を行った後、もしくは Z の新しい値がその前の値と反対の符号であるか正確に 0 の場合、累積が再開される前に累積値はリセットされる。

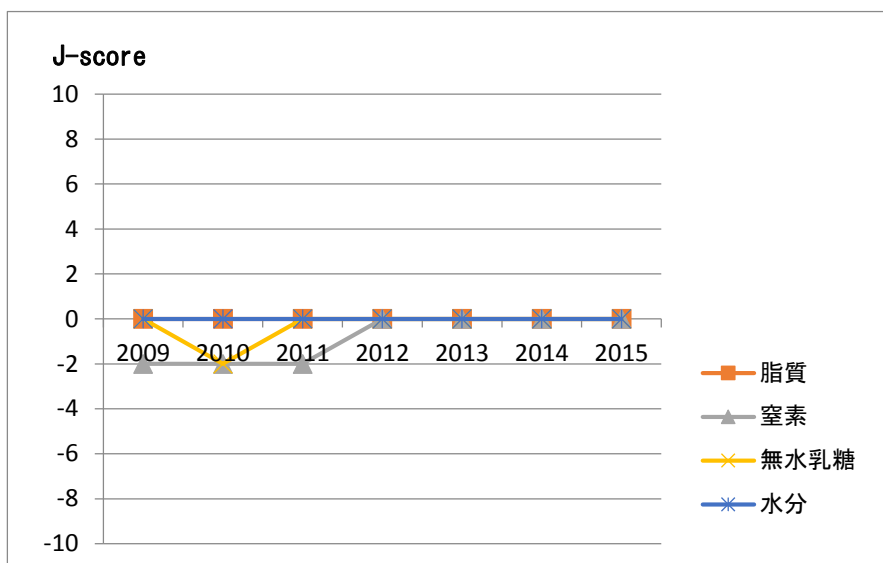
$$\begin{aligned} |Z| \geq 3 &\Rightarrow J=8 \\ 2 \leq |Z| < 3 &\Rightarrow J=4 \\ 1 \leq |Z| < 2 &\Rightarrow J=2 \\ |Z| < 1 &\Rightarrow J=0 \end{aligned}$$

3. 結果および考察

1) 技能試験の年次別成績

参加した全 7 回の Z-score 評価の成績については表 2 に示すとおりで、各年次のいずれの試験項目についても Z-Score で $|z| \leq 2$ であった。今年度については全ての試験項目で、 $|z| \leq 0.5$ と、良好な成績であった。

図1 J-Chartによる評価結果



4. 参考文献

- 1) 「認定の基準」についての指針-化学分析-,公益財団法人日本適合性認定協会 JAB RL355-2007 改 3, P.37, ,2007
- 2) 技能試験の適用についての方針及び手順, 公益財団法人日本適合性認定協会 JAB RL230-2008, P.6, ,2008
- 3) M. Thompson, Proficiency testing: assessing z-scores in the longer term, Analytical Methods Committee, AMCTB No 16, 2007

(小板英次郎、仁藤百合子)